

アルパイン
サイドカメラパッケージ

車 種	年 式	型 式
デリカ D:5	H26/8 ～現在	LDA-CV1W DBA-CV2W/5W

平成31年2月現在のものです。2月以降の車両は変更されている場合があります。

ここでの説明は、車両部品の取り外し、キットの取付・配線位置の説明に限らせていただきます。
各製品の取扱いは、製品付属の取扱説明書をご確認ください。
取り付けの際は、製品付属の取付説明書に記載されている注意事項を必ずお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。

※取り付け作業の前に、バッテリーのマイナス端子を外してください。

【標準装着時間：3.5H】

1

目次

1.	目次	1
2.	必要工具	1
3.	取り付けにあたっての注意事項	2
4.	構成部品	4
5.	取付概要	4
6.	接続図	5
7.	取付要領	6
	1. 車両部品の取り外し	6
	2. サイドカメラの取り付け	7
	3. ナビゲーション本体の取り付け	14
	4. 車両部品の復元/動作確認	15
8.	接続確認/システム設定	15

2

必要工具

プラスドライバー、マイナスドライバー、クリップはずし、オーナメントリムーバー、ソケットレンチセット、トルクスレンチ、トルクレンチ、カッターナイフ、ニッパー、マスキングテープ、定規、保護メガネ、保護手袋（軍手）など、プライヤー、防錆剤、タッチアップペイント、シーリング剤、ドリル（9.5 mm、3.5 mm）、センターポンチ、ヤスリ、ビニールテープ

安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店で取り付けを行ってください。
- ご使用前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

周辺確認は必ず運転者の目視で行ってください。
カメラシステムは車両周辺確認のための補助装置です。
画面に映し出される映像は車両周辺状況の一部です。
カメラは広角レンズを使用しており、通常の視界と映し出される映像では距離感が違います。



映像が出ない、異物が入った、煙が出る、
変な臭いがしたときは、ただちに使用を
中止しお買い上げ店に相談してください。
事故・火災・感電の原因になります。



分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。



取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・
タンクなどのボルトやナットを使わないでください。
制御不能・火災の原因になります。



ねじなどの小物類は、幼児の手の届かないところ
に保管してください。飲み込んだ場合は、ただち
に医師と相談してください。



助手席エアバッグの近くに製品を取り付けないで
ください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガ
の原因になります。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を
守ってください。事故・火災の原因になります。



コード類は運転の妨げにならないように束ねて
ください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダ
ルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



DC12V マイナスアース車以外に接続しないで
ください。事故・火災の原因になります。



走行前にカメラの取り付け状態、ねじの緩みが
ないか点検してください。事故の原因になります。



配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子から
アース線を外して、配線作業をしてください。
感電・ケガの原因になります。



カメラの取り付け作業を行うとき、カメラの取り
付け状態を点検するときなどは、車を平坦で安全
なところに停めて必ずエンジンを切り、サイド
ブレーキを確実に引いた状態で行ってください。
事故の原因になります。



コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ら
ないでください。感電・ケガの原因になります。



ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等
を使用して目に切削粉や破片が入らないように
保護してください。ケガの原因になります。



前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバー
など運転操作を妨げる場所には、取り付けないで
ください。事故・ケガの原因になります。



運転中は、画面を見るのを最小限にしてください。
走行中に画面を見ていると前方不注意となり事故
の原因になります。



車体に穴をあける場合には、パイプ・タンク・
電気配線などを傷つけないでください。事故・
火災の原因になります。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。
火災・故障の原因になります。



カメラ本体は、車幅・車の前後からはみ出ない場所に取り付けてください。歩行者などに接触して、事故・ケガの原因になります。



コードをシートレールにはさんだり、突起物に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



コード類の配線は、高温部・可動部を避けて行い、しっかり固定してください。高温部に接触してコードの被膜がとけたり、可動部分による咬み込みによりショートや断線が起こり火災・感電の原因になります。



付属品を指定通りに使い、しっかりと固定してください。事故・故障の原因になります。



カメラ本体以外は水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。
事故・故障の原因になります。



取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。また、取り付け場所を移す場合や取り付け車両を変更する場合もお買い上げ店に依頼してください。



車以外に使わないでください。火災・感電の原因になります。



電動ドライバーの使用を禁止します。

電動ドライバーは力の加減が難しく、ねじ穴を破損させるだけでなく、車を破損させる恐れがあります。



取り扱い上のご注意

取り付けについて

- 本機は弊社が販売する車種別取付キット専用商品です。必ず車種別取付キットを使用し取り付けを行ってください。専用の取付キット以外を使用した場合、性能が十分に確保できず 正常に表示しません。

本機の映像について

- 本機は広角レンズを使用しているためにディスプレイ上の映像と実際の距離とは異なります。

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

- 画面ノイズや誤作動の原因になる場合があります。携帯電話や無線機は本機から離れてご使用になることをお勧めします。

無理な力を加えない

- カメラの向きのズレ、カメラ取り付け台はがれの原因になりますので、カメラ・取り付け台に無理な力を加えないでください。またカメラ破損の恐れがありますので飛び石等にはご注意ください。

お手入れについて

- レンズに雨滴や汚れが付着した場合、やわらかい布に水を含ませて拭いてください。カメラのレンズ部分・取り付け台・コード類は変形や劣化をふせぐため薬品や磨き粉等を使用しないでください。レンズに傷がつくと、映像が見えにくくなります。

洗車時の注意

- 自動洗車機や高圧洗車は行わないでください。カメラ外れやカメラコード損傷の原因になります。また、カメラ内部や車体内に水が入り込む可能性があります。

夜間および、悪天候時のご使用について

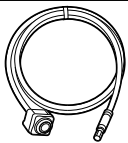
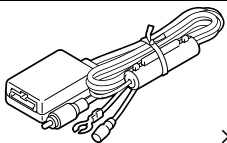
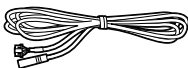
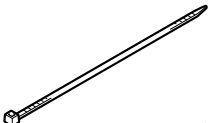
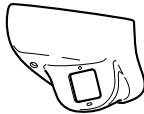
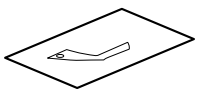
- 本機を夜間や悪天候時にご使用になるときは映像が見えにくくなるときがあります。必ず目視にて車両周辺状況をご確認ください。

4

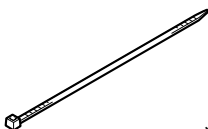
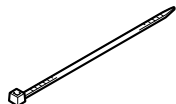
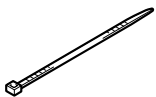
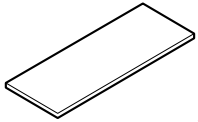
構成部品

※製品の仕様は、予告なく変更することがあります。

■サイドカメラ

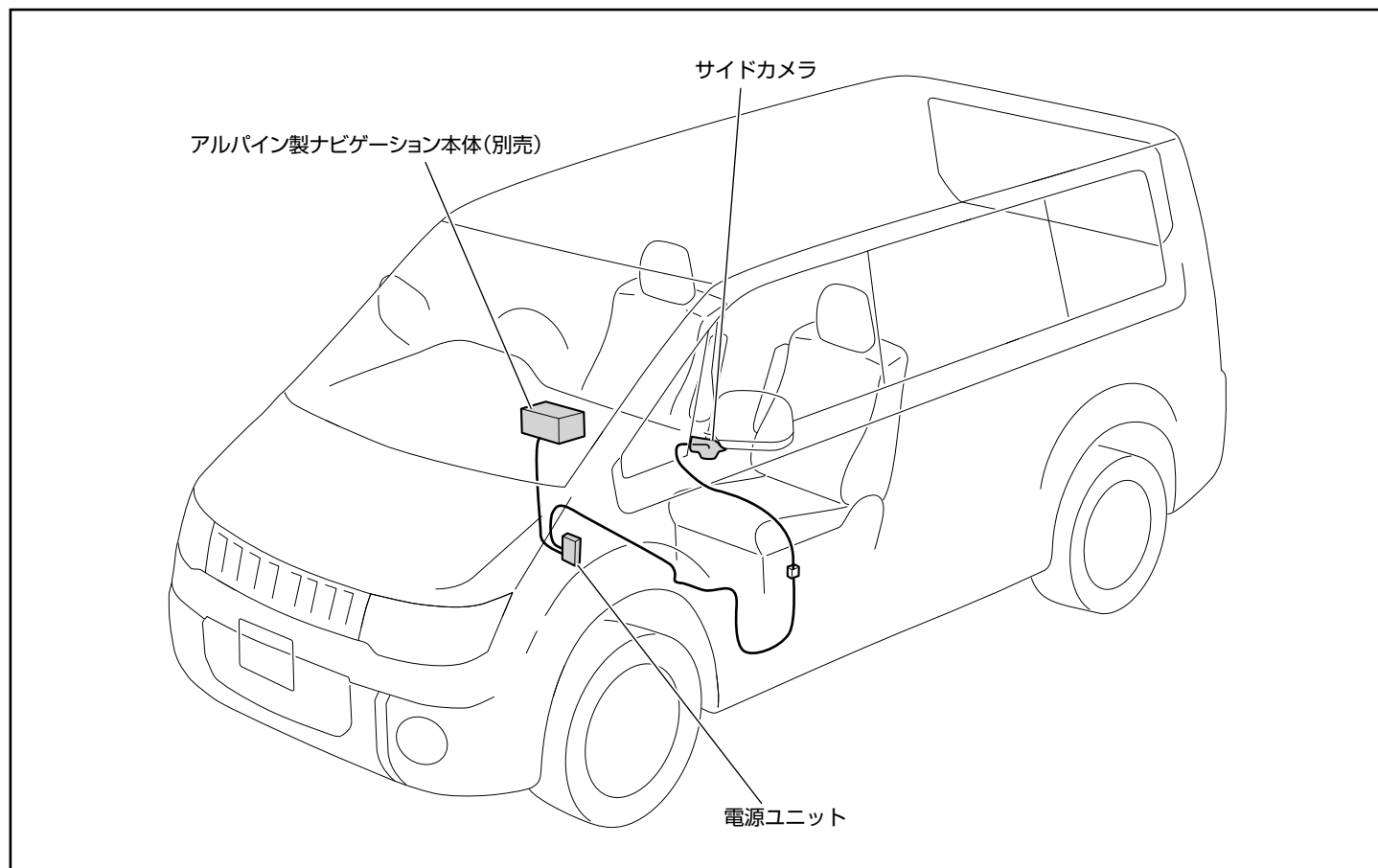
サイドカメラ	電源ユニット	サイドカメラ延長コード	結束バンド	ミラーカバー
 ×1	 ×1	 ×1	 ×5	 ×1
ブラケット	カメラ取付ねじ (M3×8)	トラストルクスねじ (M5×16)	ワッシャー (M5)	スプリングワッシャー (M5)
 ×1	 ×4	 ×1	 ×1	 ×1
ウェルナット (M5)	バックブライマー	型紙	カメラ取り付けネジ	保証書
 ×1	 ×1	 ×1	 ×2	 ×1

■取り付け部品

タイラップ (200mm)	タイラップ (150mm)	タイラップ (100mm)	クッションテープ(75mm×250mm)
 ×5	 ×10	 ×10	 ×1

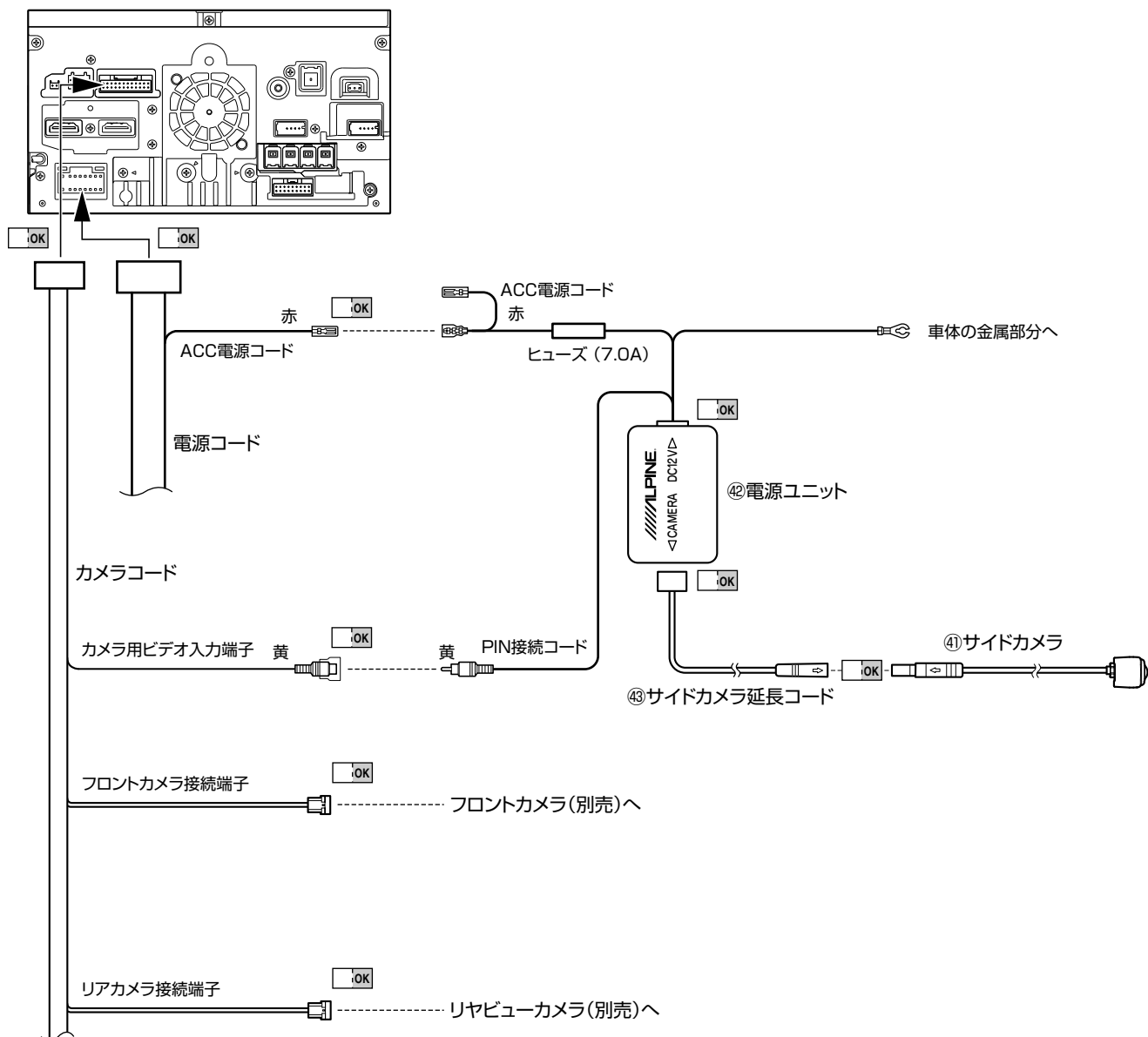
5

取付概要

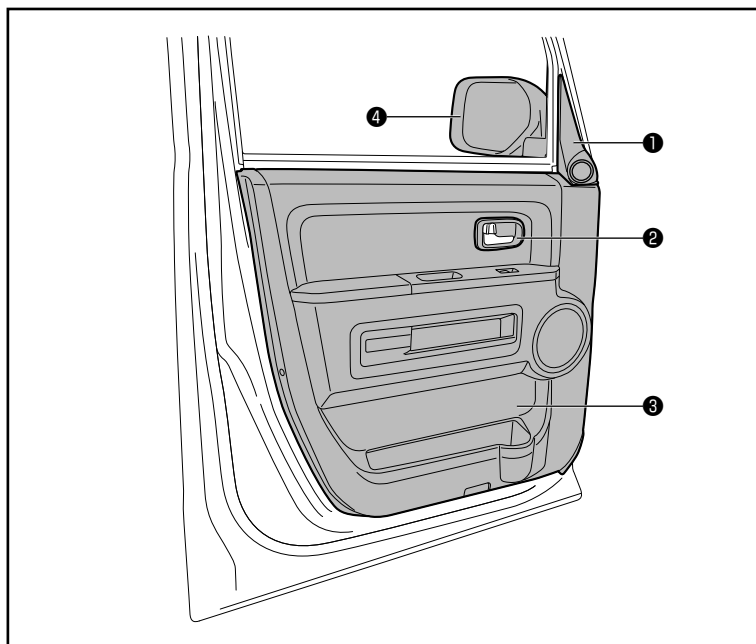


■基本接続図

アルパイン製ナビゲーション本体(別売)

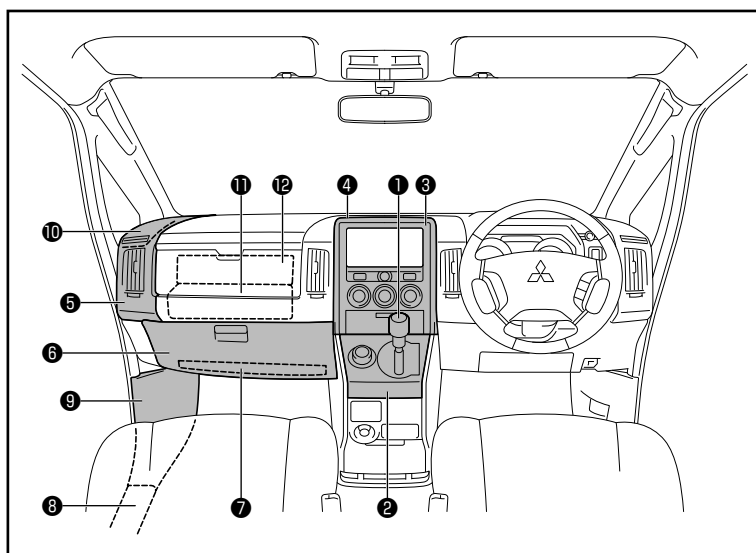


1. 車両部品の取り外し



1. 左図を参照して内装部品を外します。
 (車両部品の取り外し手順や締め付けトルク等については整備解説書を参照してください。)

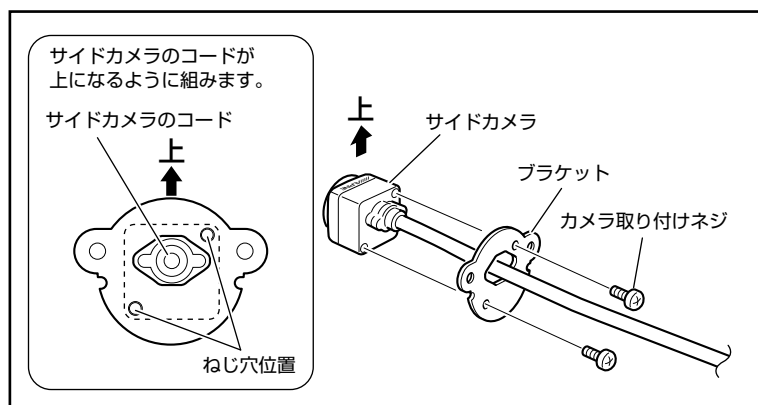
	部 品 名
①	フロントドアサッシュトリム (LH)
②	インサイドドアハンドルカバー (LH)
③	フロントドアトリム ASSY (LH)
④	ドアミラー ASSY (LH)



2. 左図を参照して内装部品を外します。
 (車両部品の取り外し手順や締め付けトルク等については整備解説書を参照してください。)

	部 品 名
①	セレクトレバーノブ
②	シフトインジケーターパネル
③	インストルメントパネルセンターパネル ASSY
④	インストルメントパネルコンソールパネル
⑤	インストルメントパネルサイドカバー (L)
⑥	グローブボックス ASSY
⑦	インストルメントパネルアンダーカバー
⑧	フロントドアステップトリム (L)
⑨	カウルサイドトリム (L)
⑩	フロントピラーロウートリム (L)
⑪	インストルメントパネルトレイ
⑫	グローブボックスプラグ

2. サイドカメラの取り付け

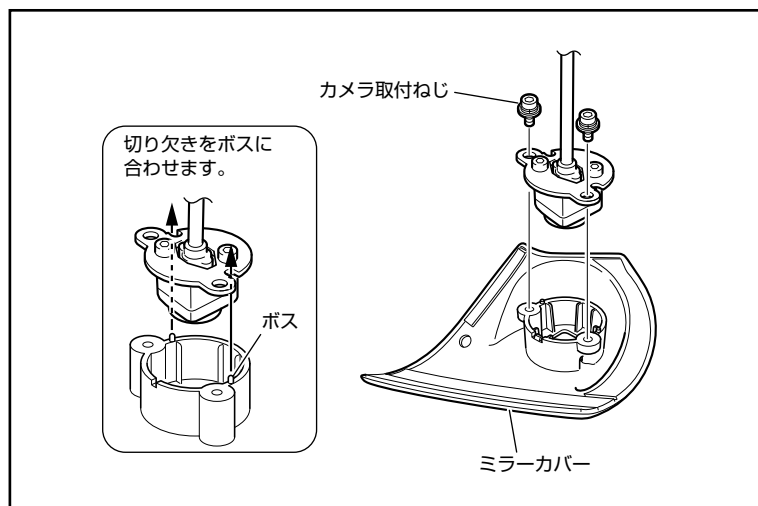


■サイドカメラと取付キットの組み立て

1. サイドカメラに、ブラケットを取り付けます。

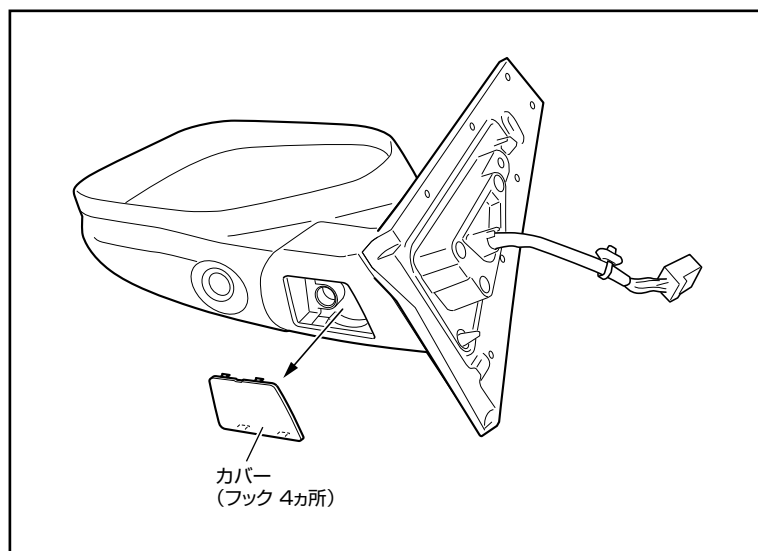
⚠ 注意 カメラの取付け方向に注意してください。

2. ミラーカバーに、サイドカメラを取り付けます。

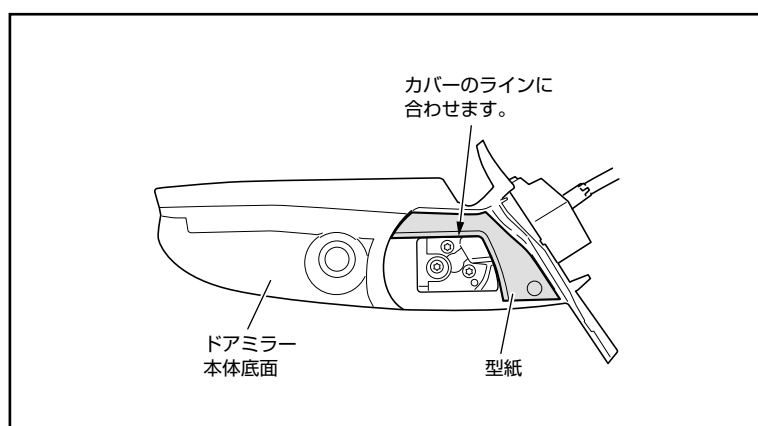


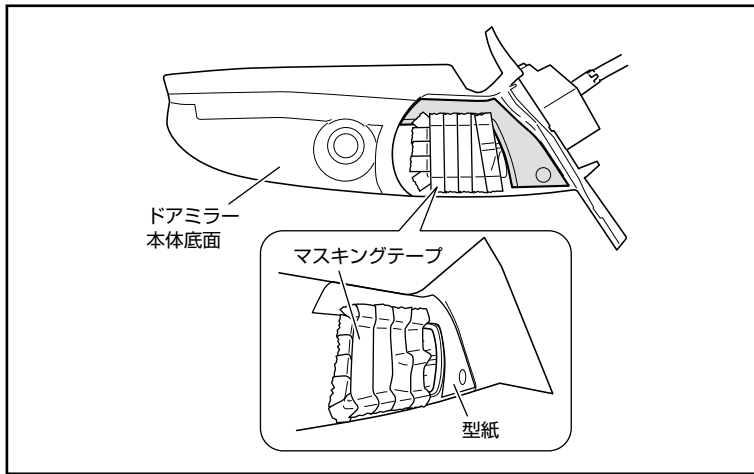
■ドアミラーの穴あけ加工

1. ドアミラー本体底面のカバーを取り外します。



2. ドアミラー本体底面に型紙を貼り付けます。

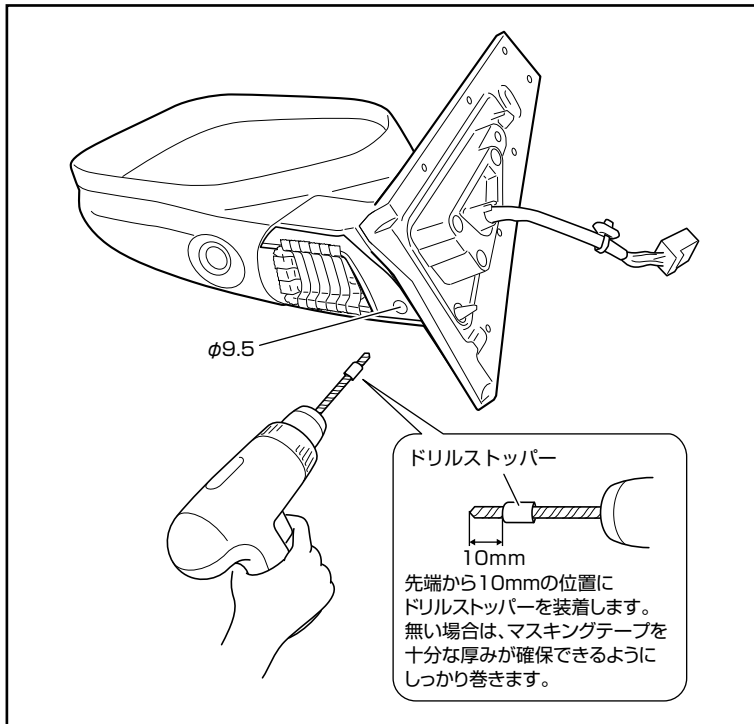




3. 可動部をマスキングテープで隙間があかないように保護します。



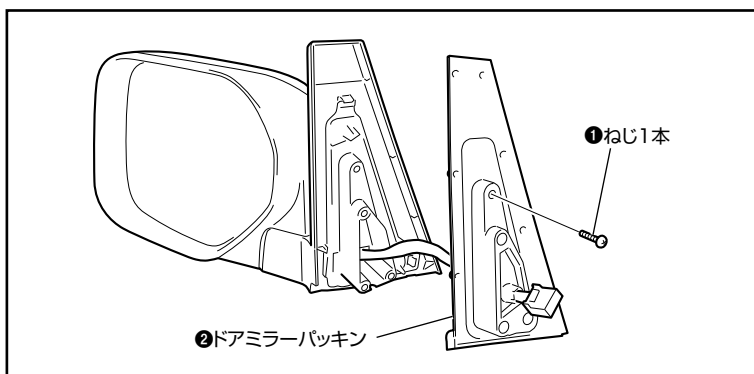
注意 可動部に切削粉が入らないようにマスキングしてください。



4. 型紙に合わせて穴をあけます。

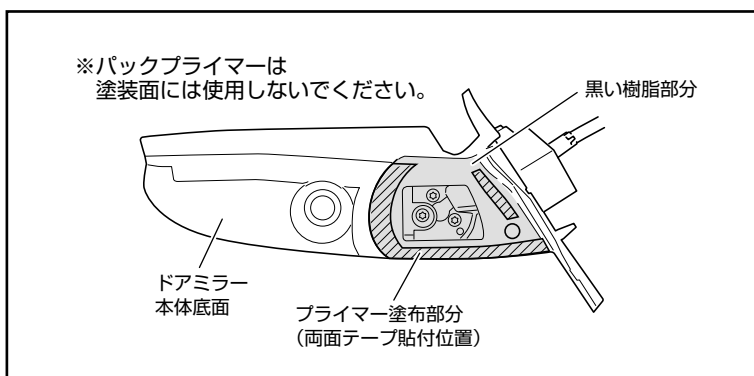


- 下穴をあけてから穴をあけてください。
- キズ防止のため、ドアミラーをマスキングテープなどで保護してください。



■ ドアミラー本体への取り付け

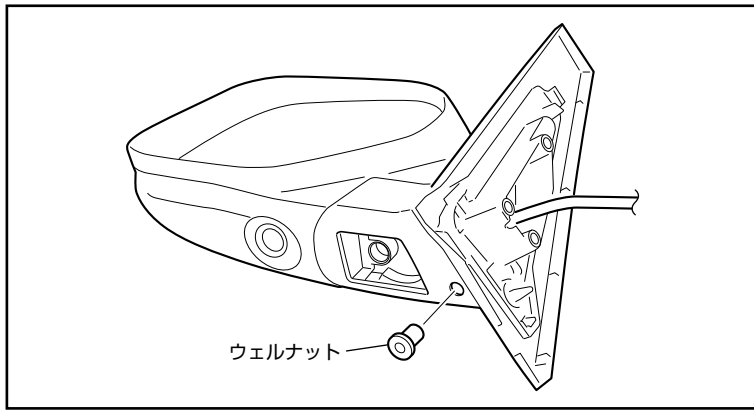
1. ドアミラーパッキンを取り外します。



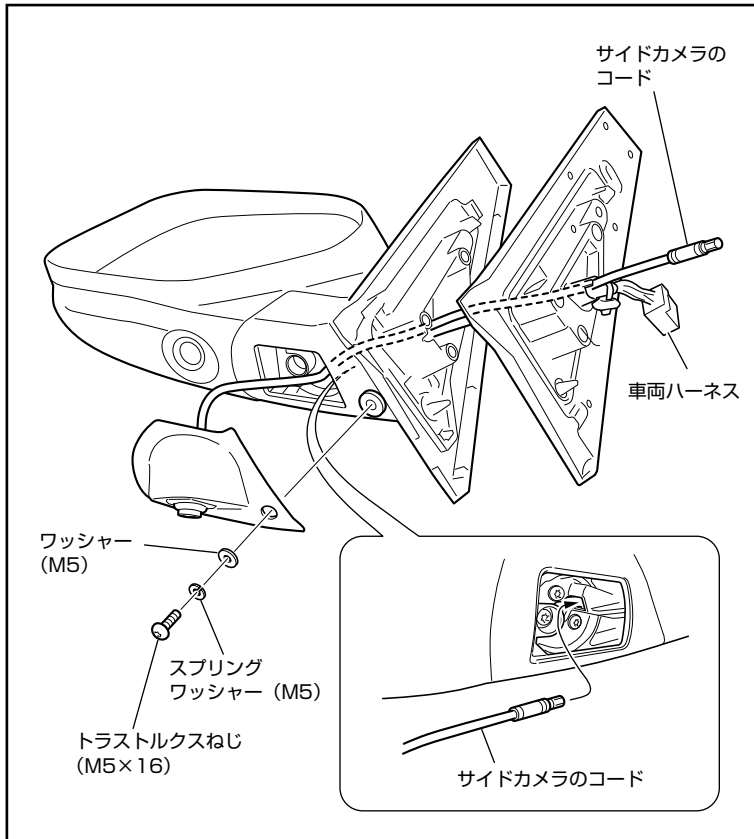
2. 黒い樹脂部分のマスキングテープをはがし、ミラーカバーの両面テープが貼りつく位置にバックプライマーを塗布します。



- 貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に取り除いてから貼り付けてください。
- 必ずバックプライマーを使用してください。
- 塗装面にはバックプライマーが付着しないように注意してください。
- バックプライマーはその他の工程には使用しないでください。



3. 加工した穴にウェルナットを差し込みます。



4. 車両ハーネスに沿ってサイドカメラのコードをドアミラー下の開口部から車室内側へ通します。

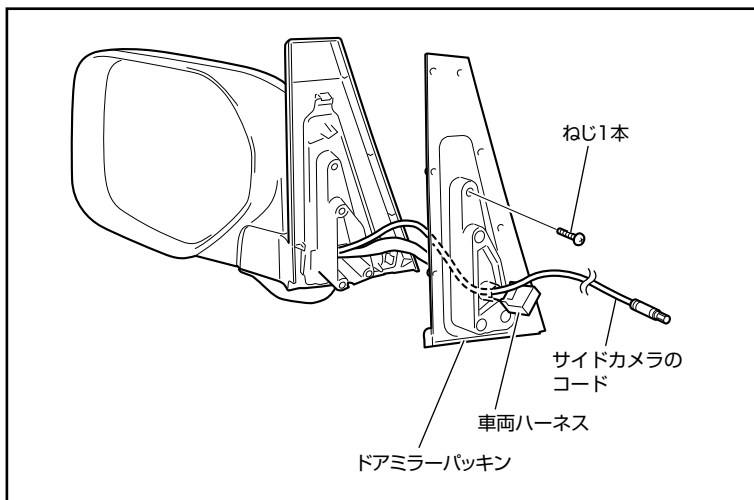
⚠ 注意

- 配線をキズ付けないように注意してください。
- サイドカメラのコードの端子を变形させないように十分注意してください。

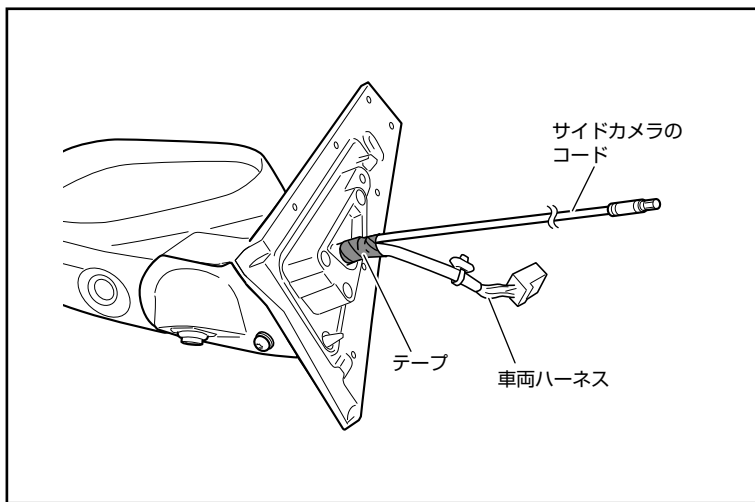
5. ミラーカバーの剥離紙をはがし、ドアミラー本体にミラーカバーを取り付けます。

✎ Memo

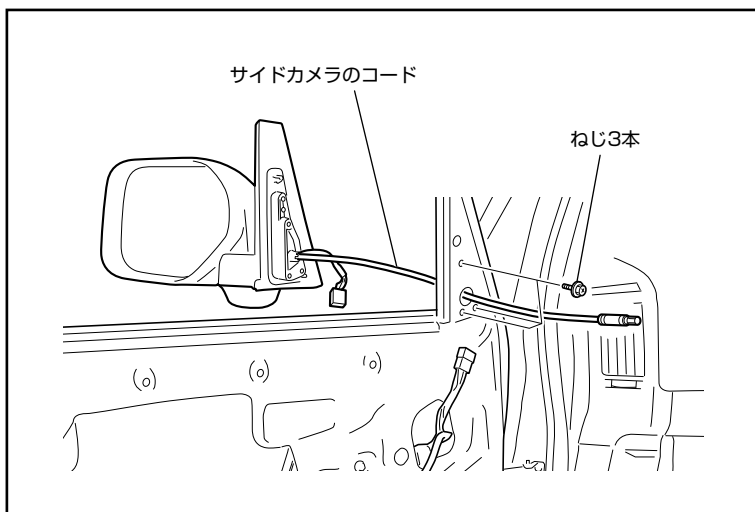
- 貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に取り除いてから貼り付けてください。
- ミラーカバーの位置がずれないように、位置合わせの目安を決めてから貼り付けてください。
- ミラーカバーの貼り直しを行った場合は接着力が落ちてしまいます。



6. ドアミラーパッキンを元に戻します。

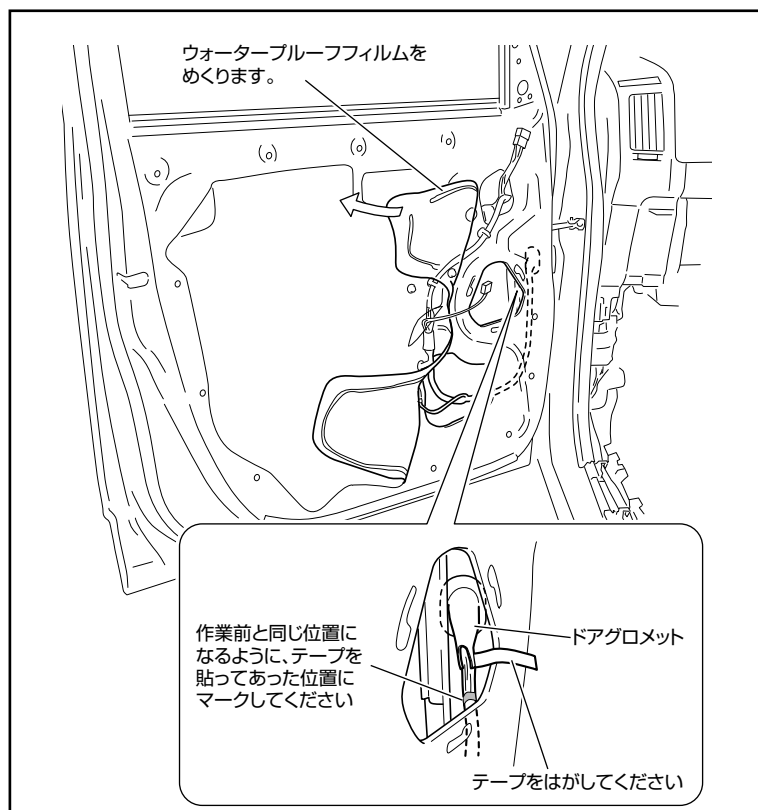


7. サイドカメラのコードと車両ハーネスを、左図の位置にテープで固定します。



8. ドアミラー本体をドアパネルに復元します。

注意	コードが、かみ込まないように復元してください。
Memo	ボルト取付時のトルクは、「8.0N・m」で締め付けてください。

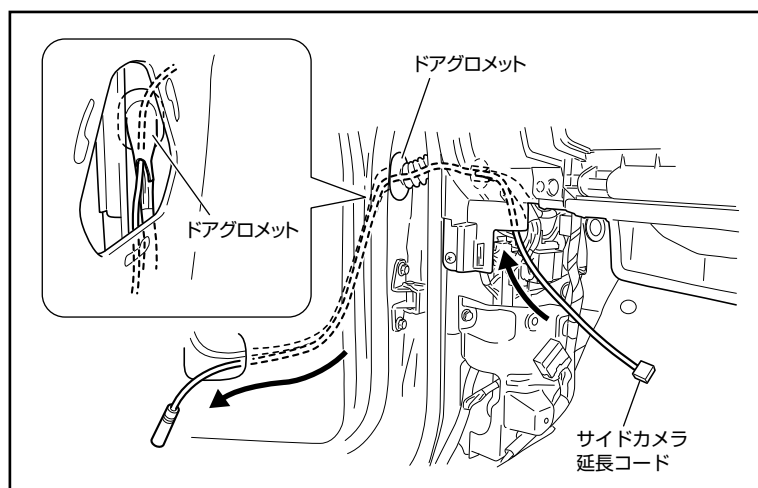


■サイドカメラ延長コードの配線

1. ウォータープルーフフィルムをめくり、ドアパネル内のドアグロメットを外します。

⚠ 注意

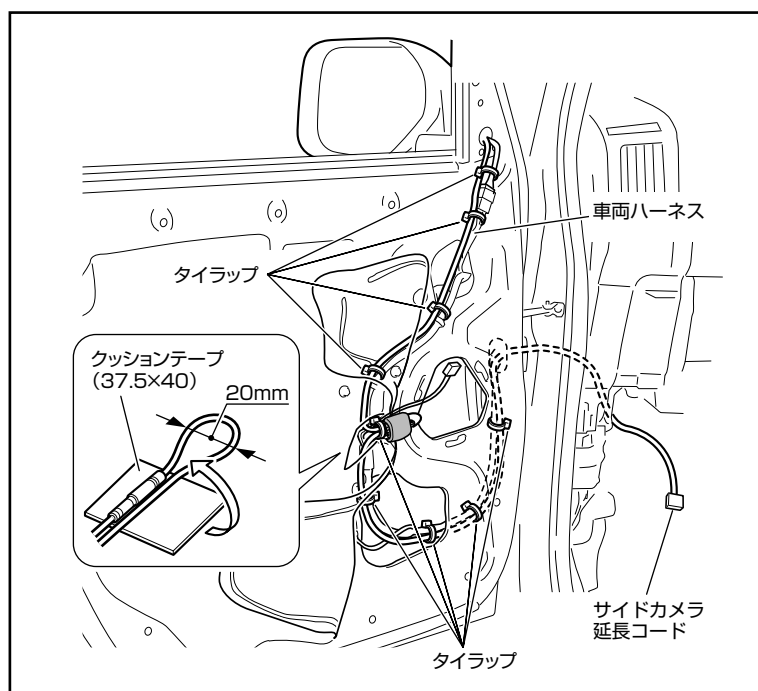
- ウォータープルーフフィルムやゴムは破損しやすいので、十分注意してください。
- ドアグロメットは、必ず作業前と同じ位置になるようにしてください。



2. 車室内側からドアグロメット内にサイドカメラ延長コードを通し、ドア側へ配線します。

⚠ 注意

- ケーブルはドアの開け閉め時に挟んだり張りすぎたりしないように、適度な余裕を持たせて通してください。
- 配線やグロメットをキズつけないように注意してください。



3. サイドカメラのコードとサイドカメラ延長コードを接続し、車両ハーネスに固定します。

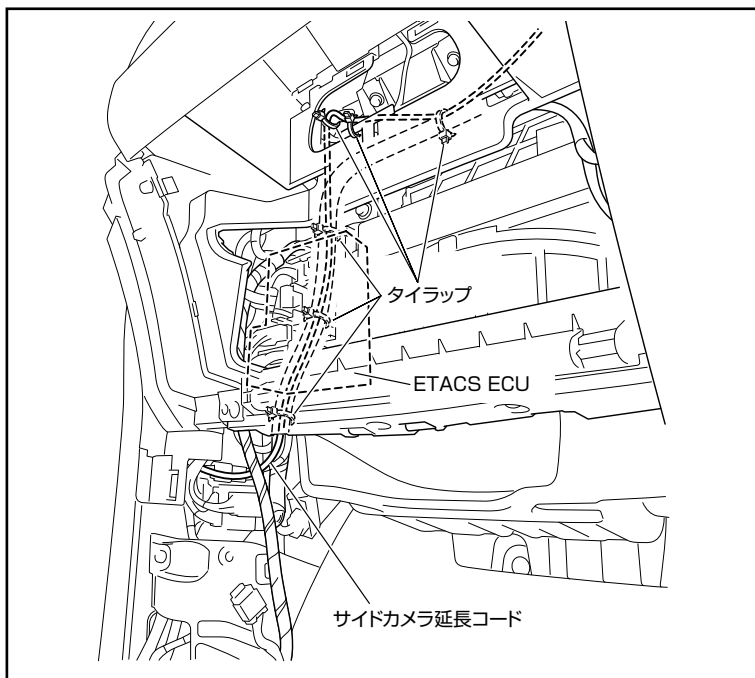
⚠ 注意

- コネクター接続部を車両ハーネスに固定の際は、急な屈曲を避けるため、折り曲げの径を20mm確保してください。

4. ドアグロメット・ウォータープルーフフィルムを復元します。

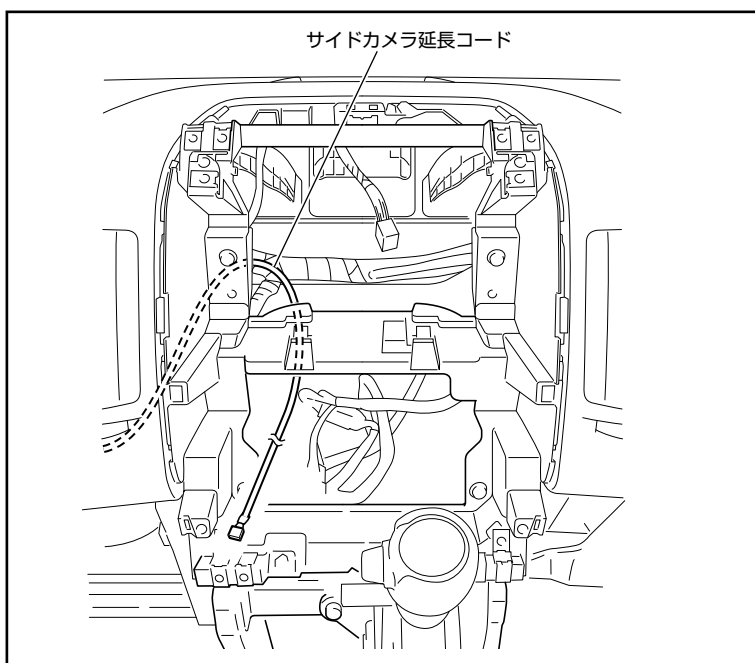
⚠ 注意

- ドアグロメットは確実に固定されていることを確認してください。

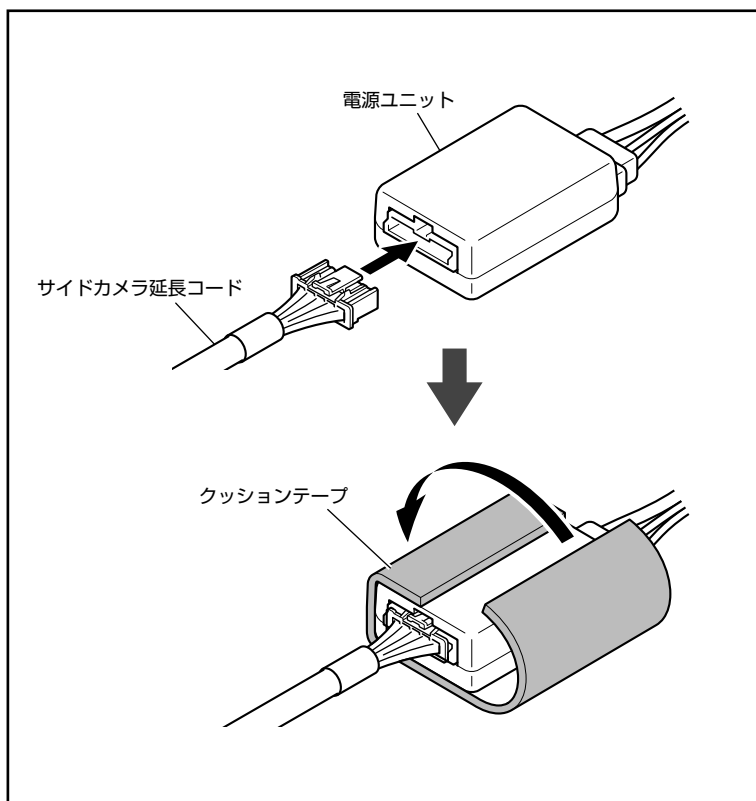


5. インストルメントパネル裏側ETACS ECU奥の車両ハーネスに沿ってオーディオ取付スペースまで配線し、タイラップで固定します。

⚠ 注意	車両の板金エッジなどに干渉しないように配線してください。
------	------------------------------

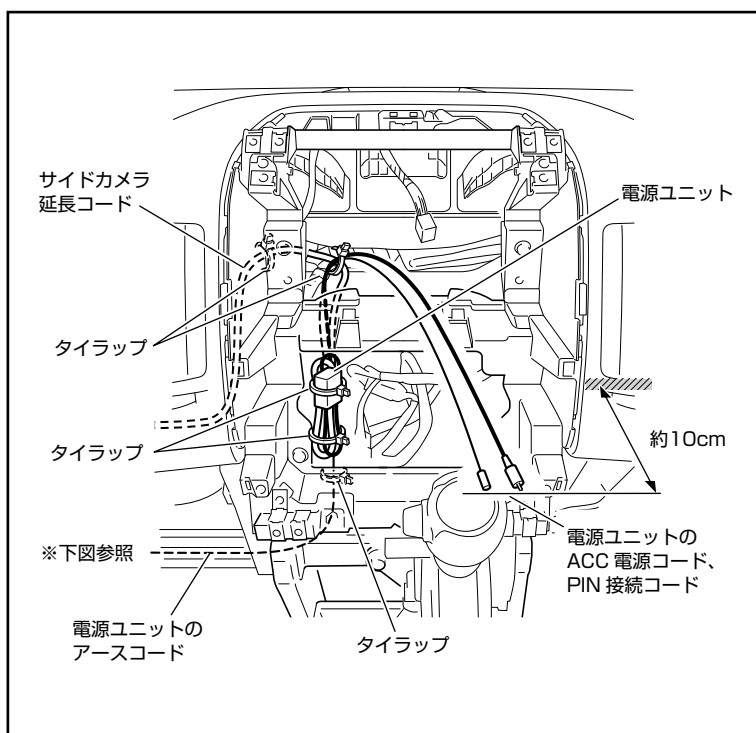


6. 車両ハーネスに沿ってオーディオ取付スペースからインストルメントパネルコンソールセンターASSY上部まで配線します。



■電源ユニットの設置

1. 接続図を参照し、電源ユニットにサイドカメラ延長コードを接続します。
2. 電源ユニットにクッションテープを巻きます。



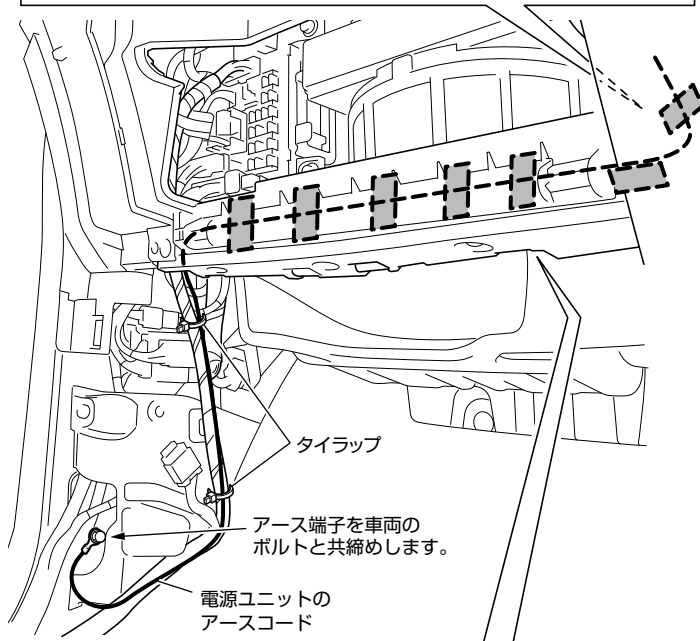
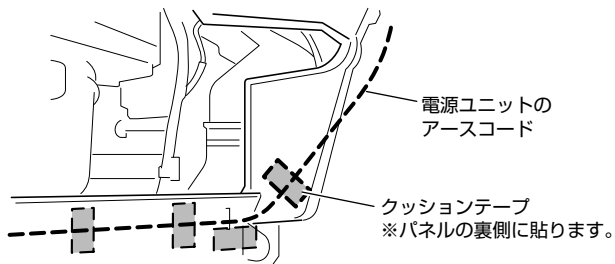
3. 電源ユニットのACC電源コード、PIN接続コードをオーディオ取付スペースのパネル前面から約10cm引き出し、車両ハーネスにタイラップで固定します。

 Memo	ETC/ITSスポット(DSRC)車載器を同時装着する場合は、先にETC/ITSスポット(DSRC)車載器の余長を固定してから、サイドカメラの余長を固定してください。
--	--

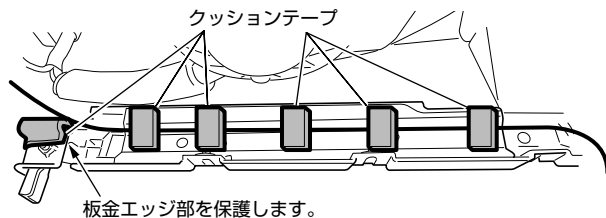
4. 余長と電源ユニットと一緒に束ねて、車両ハーネスにタイラップで固定します。

 注意	車両の板金エッジなどに干渉しないように配線してください。
--	-------------------------------------

<グローブボックス取付部右側>



<裏側から見た図>



5. 電源ユニットのアースコードをグローブボックス下部の樹脂フレームに沿ってカウルサイドトリム (L) まで配線します。

6. アース端子をカウルサイドトリム (L) 内の車両のボルトと共締めします。



注意

- 必ずテスターで導通の確認をしてください。
- 車両ボルトの締め付けトルクは、車両整備解説書の指示に従ってください。

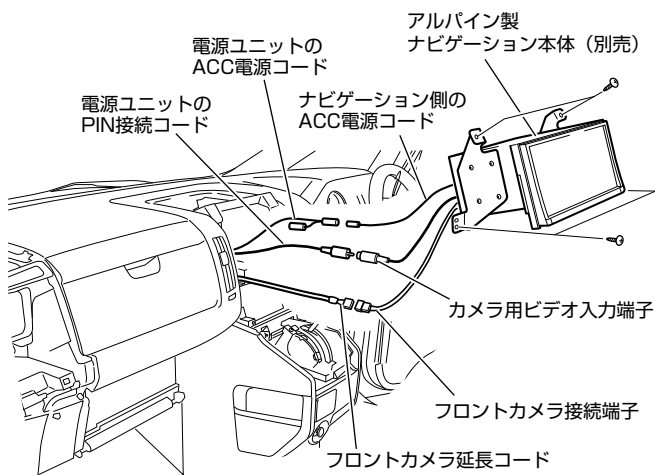
7. アースコードをタイラップとクッションテープで左図の位置に固定します。



注意

- 車両の板金エッジやネジの先端がアースコードに干渉しないように配線してください。
- グローブボックスの開閉軌道上にアースコードが干渉しないように配線してください。

3. ナビゲーション本体の取り付け



■ナビゲーション本体の取り付け

1. 接続図を参照してアルパイン製ナビゲーション本体 (別売) に配線を接続します。

2. アルパイン製ナビゲーション本体 (別売) をオーディオ取付スペースに取り付けます。



注意

ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

4. 車両部品の復元/動作確認

■車両部品の復元

1. 取り外した車両部品を元通りに復元します。



注意

ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

■動作確認

1. 電源が入ることを確認します。
2. 各カメラの映像が出ることを確認します。

8

接続確認/システム設定

■汎用カメラ設定を行います

取り付け完了後、ナビゲーション側の取扱説明書を参照して、サイドカメラを表示できるように設定してください。

【操作手順】

MENU

(メニュー)スイッチ ▶

設定 ▶

各種設定 ▶

接続機器 ▶

汎用カメラ設定 ▶

サイドカメラ

を選択



Memo

上記は2016年モデルのナビゲーションとの組み合わせ時の記載内容です。
組み合わせるナビゲーション側の取扱説明書を合わせて参照してください。